

第8回 JaF-DaF (ヤフダフ) フォーラム

JaF-DaF (ヤフダフ) フォーラムは、外国語としての日本語 (Japanisch als Fremdsprache: JaF)、外国語としてのドイツ語 (Deutsch als Fremdsprache: DaF) に関わる教育・研究者の交流を促すことを目的として、毎年ドイツ語圏大学日本語教育研究会 (Japanisch an Hochschulen: JaH) シンポジウム*に合わせて開催しています。今回はJaHシンポジウムと同様オンラインで開催し、日本での複言語・多言語教育の推進に力を入れていらっしゃる慶應義塾大学の境一三先生による基調講演をお願いいたしました。日本語教育、ドイツ語教育、日欧の共同研究・教育に興味をお持ちの教員、学生の方など、どなたでも参加いただけます (参加無料)。お申し込みをお待ちしております。

日時 : 2021. 3.7(Sun) 17:00-20:00 (日本) / 9:00-12:00 (ドイツ)

場所 : Zoomによる遠隔開催

申込 : <https://forms.gle/kbQCnWYkzPhELMjs7>

※申し込まれた方へ開催数日前にZOOMリンクをお送りします。



プログラム

17:00-17:05 : 趣旨説明

17:05-18:00 : 基調講演 「多言語・多文化化する日本社会とJACTFLの活動」
境一三 (慶應義塾大学 教授)

成蹊大学助教授、慶應義塾大学経済学部助教授を経て、2000年より現職。同大学外国語教育センター所長 (2007-2013年) を務める。専門は、外国語教育 (ドイツ語教育)、教育工学、多言語多文化教育等。近年は、多様な外国語・文化教育を横断的に結びつけ、連携・協力を図る日本外国語教育推進機構 (JACTFL) の設立と運営に関わり、グローバル社会に対応する多様な外国語教育の重要性について発信を行なっている。

18:00-18:20 : 「オンライン授業における「仲介」スキルと民主的市民性の促進」
太田達也 (南山大学)

18:20-18:40 : 「実践報告：日本学修士課程向け「発表・議論」演習
——中・上級日本語授業の課題」
高橋淑郎 (ミュンヘン大学)

18:45-19:05 : “Random-partner Dialogs in the Plenary Followed by Q&A as a Form of German Speaking Practice and Test – How to Handle the Cognitive Load?”
Markus Rude (筑波大学)

19:05-19:25 : 「タンデムの要素を用いたオンライン海外研修」
ティツィアーナ・カルピ (ミラノ大学) ・林良子 (神戸大学)

19:25-20:00 : 総合討論 + 各参加者による情報交換
司会 : 杉原早紀 (ハンブルク大学) ・林良子 (神戸大学)

* 基調講演概要はこちらからご覧になれます : bit.ly/abstract0307

* 3月5日および6日に開催されるJaH (今年度はポーフム大学主催) への参加を希望される方は、HP (<https://www.japanisch-an-hochschulen.de/j-sympo-aktuell.php>) より直接お申し込みください。

主催 : JaF-DaF Forum実行委員会

共催 : 日本独文学会ドイツ語教育部会・ドイツ語圏大学日本語教育研究会・神戸大学国際文化学研究推進センター

後援 : 神戸大学国際交流促進事業

問い合わせ先 : 林良子 (神戸大学国際文化学研究科) rhayashi@kobe-u.ac.jp